

# こが



市議会だより 第73号 平成27年(2015年)11月  
発行責任/福岡県古賀市議会

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>

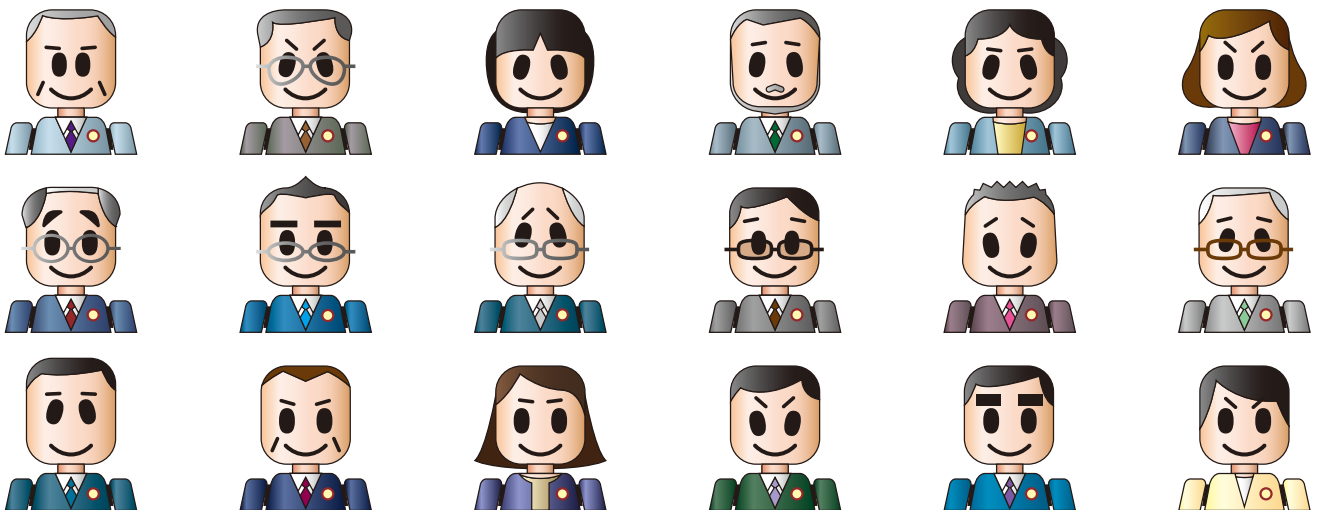
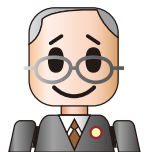


## リーパスプラザ大会議室

19人の  
市議会議員と

### 19:00~20:30

## 古賀市を語り合いましょう!



# 決算特集

## 最小限の経費で、最大限の効果が得られたか。決算総額305億4千万円、実質収支は9億1千万円の黒字。

第3回定例会では、平成26年度決算について5日間の集中審議を行いました。

### 一般会計

#### 市内公共交通網整備事業費

西鉄路線バス運行補助

3652万円

サンコスモシャトルバス実験運行委託

461万円

地域移動サポート補助

24万円

古賀市では、公共交通の需要も高まっていますが、西鉄バスを基幹交通として、平成

21年度より西鉄バスに赤字分を補填しています。補填額増の要因については、平成26年度は、路線バス利用者は25万人で、平成24年度をピークに、1万7400人減少、平成25年度より1600人減。利用者減少に伴う収入減に加え、燃料費の高騰もあり、補助金は増額しています。

トルバス実験運行委託においても、平成26年度は、4345人の利用で、一人あたりの運送経費が高額となることから、西鉄バスへの委託ができなにかの検討もされましたが、さらにより方法を検討していくとのこと。

地域移動サポートは、平成26年度は、高田地区、筵内地区が、おでかけタクシー事業として取り組んでいます。

#### 保育所整備に成果は

保育所緊急整備事業補助

1億7325万円

保育所整備の成果と教訓は、との質疑に、舞の里の保育所空白地帯に110人の保育所を開設できたことは、古賀市の待機児童ゼロの堅持につながることは成果となったが、住民説明の時期が遅かつ



基幹交通となっている西鉄バス

利用者の減少が補助費増額につながっていることから、今年度は、すでに乗り込み調査を実施しており、ルート、ダイヤに関しても市、西鉄相互に努力し、利用促進策を進めますとの回答でした。サンコスモシャ

#### 古賀市一般会計

予算やマスタープラン、施策方針に基づいた執行になっているか、不適切、違法な執行はないか、監査意見書も参考に審査しましたが、決定的な問題はない。市長には決算委員会での指摘事項を今後の市政運営、来年度予算編成に生かしてもらいたい。

奴間 健司

賛成

高齢者を狙う悪質な詐欺をくい止めようと、救済に励んでいる消費者相談窓口委託事業は、出前講座、PRを行うなど評価できる。工業力PR事業費は、古賀市の大きなものづくり力を、小中学生が体験できる機会を提供でき、「古賀のものづくり力」を発信できたことを評価。

阿部 友子

賛成

公共交通は市民の望むものとはなっていない。同和地区活動補助などの決算報告書の指導や市民への説明責任が果たせていない。子育てや、中小企業の支援や商業・農業への支援策も不足している。教育環境の整備も不足。

内場 恭子

反対

#### 古賀市介護保険特別会計

介護保険料基準月額4700円は安いものとはいえない。高い保険料を払っているのに希望のサービスが受けられない人もいる。

内場 恭子

反対

健康づくり運動サポート・養成講座を開き、サポートによる出前講座や地域で活動していたとき、住民の健康づくりに励まされたことを評価できる。

阿部 友子

賛成

たことを反省し、今後同様なことがないように、取り組んでいくとの回答でした。

**健康寿命延伸に大きな役割**

ヘルス・ステーション設置補助 10万円

現在、花鶴丘三丁目地区で地域住民説明会を開催、福祉委員の協力を得て、立ち上り担当として、保健師2人、事務1人、地域から5人の方に担当していただき、また、福岡女学院看護大学の先生の支援も受け開設しています。昨年は子どもとお母さんの測定会も開催されました。

一行政区が受けられる補助は2年間ですが、地域を上げて、みんなで健康作りに取り組み、46行政区全てで開設をめざします。



花見東二区での実施風景

**農業振興費**

古賀市K-1(古賀の一品)

ブランド推進事業補助 230万円

平成24年度から3年間の取り組みで始まったK-1(古賀の一品)グランプリ。最終年の平成26年度は7商品の継続販売がされています。3年間では、43商品のうち19商品が継続販売されています。

しかし販売数が少ないと、コスト削減も難しいため、販売に対しての工夫や支援をとために3年間のカタログを作成して周知しているとの回答でした。



古賀市のK-1グランプリ商品

**教育費**

小中学校への人的配置 1億899万円

小中学校には、それぞれ学力のフォロワーのための学習支援アシスタントをはじめとする学習支援事業、心のサポートをしていく心の教室相談事業、人間関係づくり支援事業など、手厚い人的配置を行っています。

平成26年度は、小1プロブレムを2人増員したり、スクールソーシャルワーカーも、特に中学校を中心に多くの相談のつています。

特に、スクールソーシャルワーカーは、小中学校との連携や、スクールカウンセラーとの連携を深めていくことを課題とし、専門職として、これからさらなる充実をはかってほしいとの意見でした。



人的配置が充実の古賀市の学校

**歳入**

ふるさと応援寄付金の取り組みの工夫 27万円

ふるさと応援寄付金として、平成26年度は8人、27万5648円でした。

これは、前年度の1005万円に比べても77万4000円の減となりました。

ふるさと寄付金は、地域の産業活性化の意味もあり、現在4品目の商品をさらに工夫し、増やして、今後につなげてほしい、との意見に、今年7月には、商品の拡大も行ってほしい、との意見も聞きました。

そのほか

古賀市住宅新築資金等

貸付事業特別会計

古賀市国民健康保険特別会計

古賀市後期高齢者医療特別会計

古賀市介護保険特別会計

古賀市公共下水道事業特別会計

古賀市農業集落排水事業特別会計

古賀市水道事業会計

でも活発な質疑、意見が出されました。

古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計

平成26年度の回収率は2.5%と低く約1億6400万円もの返済が残っている。償還の努力を最大限行うことが必要。  
内場 恭子

古賀市国民健康保険特別会計

所得の低い人たちが高い保険料を負担する国保の構造的な矛盾が問題。払いたくても払えない高い保険料で苦しんでいる人が多くいる。  
内場 恭子

古賀市後期高齢者医療特別会計

対象者は年金生活者がほとんどで、高齢者にはこの保険料の負担は厳しい。経済的弱者の低年金・無年金者・低所得者への減免もなく、高齢者の生活を圧迫するものになっている。  
内場 恭子

古賀市水道事業会計

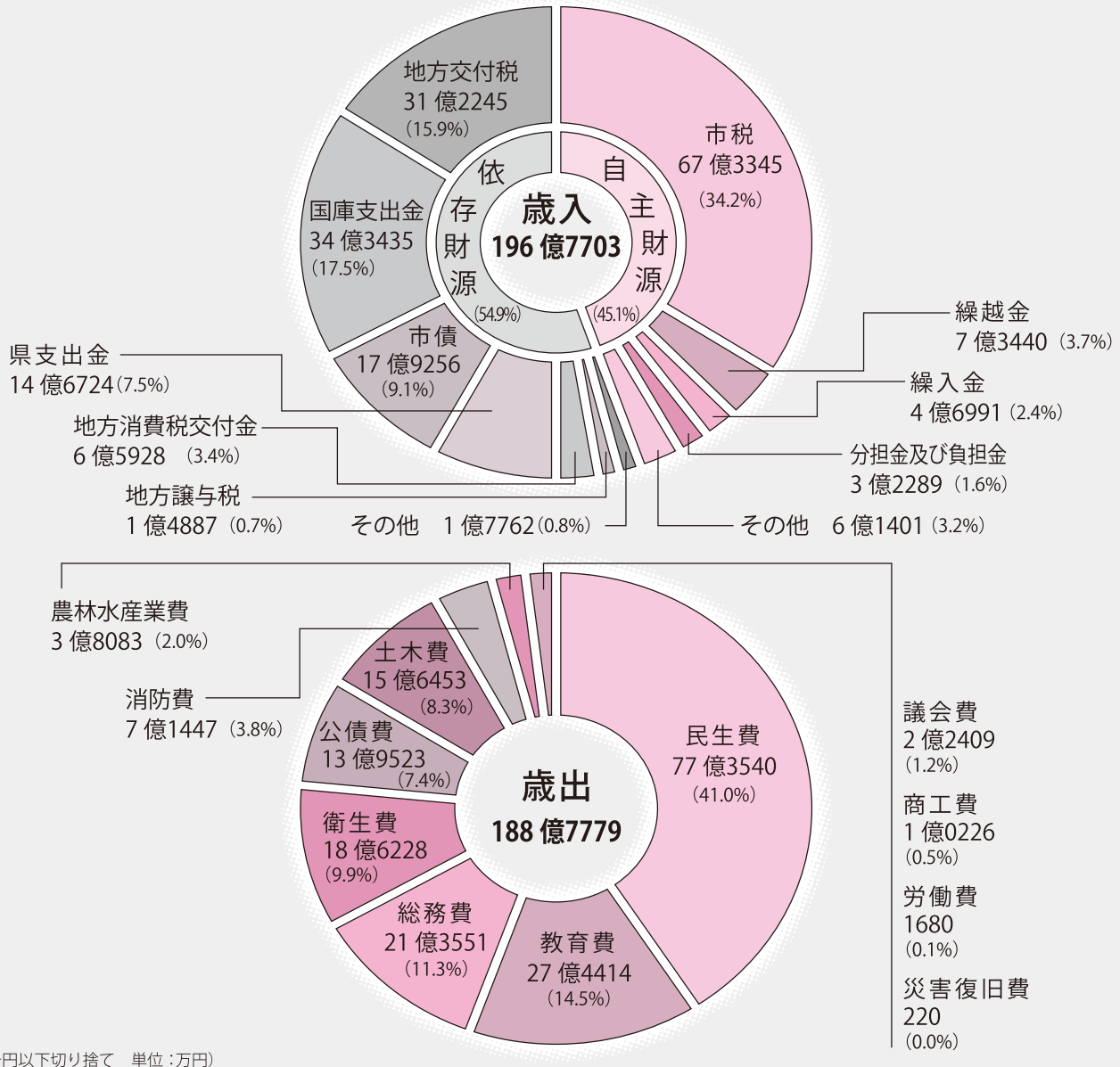
福岡水道企業団に水の55%も頼っているのは問題。古賀市独自の水源開発や水源の確保、古賀市の浄水場の活用や維持管理など、将来を見据えて水の開発や確保が必要。  
内場 恭子

反対

反対

反対

### 平成26年度古賀市普通会計



### 平成26年度古賀市会計別決算

(千円以下切り捨て 単位:万円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度繰越財源	実質収支	
一般会計	196億7032	188億7743	7億9289	7200	7億2089	
特別会計	住宅新築資金等貸付事業	1470	836	634		634
	国民健康保険	60億3842	60億5566	△1723		△1723
	後期高齢者医療	6億2714	6億1527	1186		1186
	介護保険(保険事業勘定)	32億6920	30億7955	1億8964		1億8964
	介護保険(サービス事業勘定)	2917	2753	164		164
	公共下水道事業	16億6586	16億6323	263	22	240
	農業集落排水事業	2億1687	2億1336	351	5	346
合計	315億3171	305億4041	9億9130	7227	9億1902	

#### 公共事業会計

水道事業会計	収益的収支(税込)		資本的収支(税込)	
	収入	支出	収入	支出
	11億1628	10億5994	2580	3億2395

※各表中の構成比については、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

●決算審査特別委員会

平成27年9月15日～25日

平成26年度『重点プロジェクト』を検証して

委員長 松島 岩太

決算審査特別委員会は、議長、監査委員を除く17人の議員で構成しています。

審査には、市長、副市長、教育長をはじめ関係部長、課長等の出席を求め、決算概要の説明を受けると共に、各委員より資料請求に基づく資料、監査委員から提出の決算審査意見書、成果報告書等を参考に、審査をしました。

参考として、行財政改革としての取り組みは、偶発的な要因も含め、結果として黒字決算となっており、一定の評価ができる一方で、必要な市民サービスの低下を招かないよう、さらなるきめ細やかな取り組みを求めるもので

最大の効果を得られるよう、今後さらなる努力、研究をおこなって欲しい旨や、各会計における収入未済額の収納率向上について、執行部の取り組みの努力を認めながらも、さら

決算審査特別委員会の様子

なる努力、工夫を求めるものです。  
総務部門では、自治基本条例策定の進捗状況、路線バス運行補助、駅東口構想策定委託、公募型補助金の成果、防犯カメラや防犯灯の設置状況について審査しました。  
福祉部門では、保育所整備事業、保健師、民生委員の実情や福祉タクシーの利用補助、ヘルスステーション、高齢者施策、子育て支援、障害者自立支援の推進等について審査しました。  
市民部門では、ゴミ減量の推進、玄界環境組合負担金について、建設産業部門では、河川の除草や浚渫、就職相談窓口やふるさと就労の進捗状況、市民農園の拡大等について、教育部門では、学校教育のさらなる推進、国際交流事業、生涯学習の推進、青少年育成施策の充実等について審査しました。  
各会計についても同様に、集中的に審査し、採決の結果、一般会計及び各会計は全て、全員一致もしくは賛成多数で可決しています。

要な市民サービスの低下を招かないよう、さらなるきめ細やかな取り組みを求めるもので、最大の効果を得られるよう、今後さらなる努力、研究をおこなって欲しい旨や、各会計における収入未済額の収納率向上について、執行部の取り組みの努力を認めながらも、さら

決算審議 市長に聞く!

自治基本条例策定支援業務委託 313万円

Q. 「自治基本条例の必要性を市長はどのように認識しているか」

市長：住民自治及び市民との共働体制を進めていく上で、重要であると認識している。

Q. 「委託業者から提出された基礎調査報告書に指示されている論点や示唆を、市長はどう受け入れ、どのように評価しているか。市長が力を入れているところは」

市長：参考と受け止める。今回の自治基本条例は、幅広く市民の意見を聞き、まとめていくようにしている。

「自治会とコミュニティの関係、市民の主体性・市職員の力を活用、住民投票の規定、情報提供、行政運営などの大事なことが示されているので、基礎調査報告書の内容を吟味し、活用して欲しい」



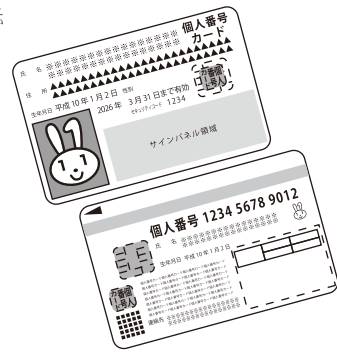
市長質疑の様子

# 第3回定例会の主な審議

平成27年第3回定例会(9月1日～9月30日)の  
主な審議の要点を報告します。

## 古賀市個人情報保護条例の一部が改正

平成27年10月から始まるマイナンバーの施行に伴い、特定個人情報として、これまでの個人情報と異なる取り扱いをすることから、改正されるものです。



特定個人情報の収集について、マイナンバー法は、他の個人情報よりも厳しい制限を規定していることから、目的

外の利用、並びに提供を制限する規定が追加されました。マイナンバーの開示請求の

手続きは、本人、代理人(本人委任による)であることを証明する書類が必要となり、情報提供ネットワークサービス(インターネット等)で、特定個人情報の照会、提供が行われた際には、そのやりとりが情報提供記録として情報提供ネットワークシステムに自動保存されます。

**問** 市民への周知や、情報漏

洩、紛失、盗難などへの対応はどうなるのか。

**答** 特定個人情報の取り扱いにかかると安全管理規定の作成、漏洩しないための条例の整備、システムの改修と事前準備など、今後とも特定個人情報を含む、全ての個人情報について全庁をあげて取り組む。市民への周知は、古賀市ホームページや広報誌による情報提供の他、出前講座として職員が地域へ出向き、説明を行う。

**問** 情報漏洩が絶対にならないと言いきれない。その時の責任はどかが取るのか？

**答** 万が一情報が漏れた場合、古賀市の仲介サーバから漏れた場合は、市の責任になり、ネットワークからの情報漏洩については、国が責任を取るべきものと捉える。

### 反対意見

日本年金機構の約125万件の個人情報の流出は、政府の情報管理への不安が拡大し、公的機関で万全な対策が取られているとは言えない。

### 賛成意見

マイナンバー制度の危惧、問題点とは別に、厳密な規定を定めることは必要不可欠。執行に当たっては、安全管理規定の策定を早急に求める。

この条例改正は、賛成多数で可決しました。

## 通知カード及び個人番号の再交付手数料について

通知カードの再交付手数料は500円。個人番号カードの再交付手数料は800円となります。

賛成多数で可決しました。

## 古賀市消防団に

### 女性部新設



求められる女性の力

災害や、火災を未然に防ぐため、消化活動等に従事する古賀市の19の分団(354人)とは別に、予防・啓発・広報活動を担う新たな部として、分団長級の部長1人、副分団長級の副部長1人、班長2人、団員6人、計10人で構成されます。

### 賛成意見

防災等の組織に女性の視点を取り入れることは、災害が増える中、喫緊の課題とされている。予防・啓発活動の充実が図られるが、女性のみの仕事としてだけでなく、男性の視点も取り入れた活動を求める。

賛成全員で可決しました。

## 特別会計補正予算

9月9日、補正予算審査特別委員会で特別会計の補正予算を審議しました。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道事業、農業集落排水事業などの特別会計補正予算を会計ごとに、資料などに基づき審査しました。

補正の主なものは、4月・7月の職員人事異動による人件費の増減です。

ほかには、会計ごとの繰入金や返還金の確定による増減です。

賛成多数で可決しました。

## 地方創生先行型交付金の活用

### 一般会計補正予算

4204万6千円増額

#### 小・中学校図書館

##### 市民開放事業

231万円

地方創生先行型交付金を活用して、10月、小中学校の後期開始にあわせて、図書館を市民に解放するという事業です。ここには、多くの質問が集中しました。



来訪者を待つ学校図書館（花見小学校）

**問** 学校図書館を解放するメリット・デメリットは。

**答** メリットは「古賀市学校

#### 高齢者生きがい

##### づくり支援事業

211万円

地方創生先行型交付金活用の事業で、鍵盤ハーモニカの導入により、地域の公民館などで行う音楽を通じた活動です。高齢者の元気づくり、介護予防、認知症予防、肺機能の強化などの効果があります。

**問** 鍵盤ハーモニカ導入にともない、そこに携わる地域公募のボランティアの育成の状況は。

**答** ボランティア養成講座受講後は、登録を行い地域にてボランティアをしていただくことを条件で、現在18人が受講されている。

**問** 開始は。

**答** 平成27年度は、13ヶ所で鍵盤ハーモニカ導入予定。



導入予定の鍵盤ハーモニカ

#### 社会保障・税番号制度

##### 導入事業

147万円

マイナンバー制導入のため、カードプリンター借り上げ料や通知カードの送付、個人番号カード発送準備などの経費です。

**問** 市民への説明は。

**答** 市のホームページ、広報紙により情報提供し、周知する。

#### 先進的農業技術導入

##### 事業補助

200万円

地方創生先行型を活用し、高収益型園芸農業の推進を図るため、先進的農業技術を導入するいちご農家に、必要経費を補助するものです。対象農家は10戸程度。

一般会計補正予算は賛成多数で可決しました。

## 9月の主な審議

### 私立幼稚園運営支援事業

認定こども園運営費 216万円

認定こども園（幼稚園部分）の入所者見込み減による補正。

### 国道・県道改良事業

県道中川熊鶴線改良工事

3750万円

県との協議が整ったため負担金を計上するもの。県事業費1億5000万円の4分の1が古賀市の負担。

### 農業用施設機能維持

#### 活動支援事業

多面的機能支払交付金 162万円

農業用施設の維持管理作業を行う。取り組み地区（葉王寺・米多比）の追加に伴う増額補正。

## 平成27年第3回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成27年9月1日～9月30日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明
63	古賀市個人情報保護条例の一部改正	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
64	古賀市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	古賀市手数料条例の一部改正	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
67	平成27年度古賀市一般会計補正予算(第2号)	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
68	平成27年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
69	平成27年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
70	平成27年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
71	平成27年度古賀市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
72	平成27年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
73	平成26年度古賀市一般会計決算の認定	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
74	平成26年度古賀市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
75	平成26年度古賀市国民健康保険特別会計決算の認定	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
76	平成26年度古賀市後期高齢者医療特別会計決算の認定	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
77	平成26年度古賀市介護保険特別会計決算の認定	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
78	平成26年度古賀市公共下水道事業特別会計決算の認定	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	平成26年度古賀市農業集落排水事業特別会計決算の認定	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	平成26年度古賀市水道事業会計決算の認定	可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
81	市道路線の変更	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	古賀市監査委員の選任	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	糟屋郡公平委員会委員の選任	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	糟屋郡公平委員会委員の選任	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	糟屋郡公平委員会委員の選任	同意	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	専決処分について(古賀市道における道路管理瑕疵に対する損害賠償)	承認	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦	適任	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦	適任	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願1	「少人数学級の推進」「義務教育費国庫負担制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願	採択	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	「少人数学級の推進」「義務教育費国庫負担制度の拡充」を求める意見書の提出	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 (■は議員提出議案)

## 平成27年第2回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成27年8月11日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明
61	工事請負契約の締結(農業集落排水事業 藪野・米多比地区処理施設工事(機械・電気工事))	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	工事請負契約の締結(平成27年度都市再生整備計画事業 サンプレアこが増床他施設整備工事)	可決	18	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順 (■は議員提出議案)



# ここが聞きたい！ 一般質問

## 安全安心なまちづくり

### (答) 各関係と連携し対応する



井之上 豊  
(公明党)

**問** 自転車通行秩序の総合対策により、自転車通行の問題を考える状況になった。歩道上を歩行者・

**問** 危険箇所を指摘、例えば街路樹の処置、河川の雑草や大木、危険な通学路。時間をかけて取り組む場所もあるが、緊急に対処しなければいけない所がある。市としての対応は。

**問** 自転車通行、道路、河川の件と安全安心なまちづくりの観点から市民のためにも県とのパイプを探り、強め、創意工夫を重ねながら、さらなる努力を願う。

自転車・視覚障がい者が一度に進む場合は、危険運

**市長** 行政区からの要望は6月末に取りまとめて調査、適時工事を発注。国道、県道に関する要望、信号機等は

**市長** ばいけない所は、即時対応、本格的工事は応急的措置、安全を確保。次年度以降に工事を実施。

だ。本年6月より、危険運転に対する厳しい罰則規定もできた。市民全体への周知徹底を、どうするか。

**市長** 改正を受けて市ホームページ、街頭啓発時にチラシ等で周知、路面シートを張る等の措置。今後も警察、安全協会、関係団体と連携して

**市長** 国、県、警察等関連機関と協議。特に通学路は教育委員、警察等関連機関と協議して対応。緊急に対処しなければ

広報活動を継続する。

ばいけない所は、即時対応、本格的工事は応急的措置、安全を確保。次年度以降に工事を実施。

女性賃金格差の解消、経済的な安定、医療の充実、子育ての施設の整備、子育ての負担軽減策など、社会基盤整備の必要性は。

**市長** 2040年目標出生率2.07への取り組みは。

**市長** 地方創生戦略の目的は出生率向上。古賀市の出生率は1.52。全国平均1.42を上回っている。保護者の希望は、病児保育と経済的な負担軽減だ。

**市長** 県は、平成28年度中に小学校卒業まで通院費助成



古賀市の危険箇所



内場 恭子

## 子どもと女性への支援の環境整備と充実を (答) 地方創生戦略の目的は出生率の向上

**問** 少子化対策、子育て支援への取り組みは。

**市長** 待機児童ゼロや子育て世代の保護者支援などを実施。まち・ひと・しごと創生総合戦略で安心の出産、子育ての環境づくりに取り組む。

**市長** 女性賃金格差の解消、経済的な安定、医療の充実、子育ての施設の整備、子育ての負担軽減策など、社会基盤整備の必要性は。

**問** 2040年目標出生率2.07への取り組みは。

**市長** 地方創生戦略の目的は出生率向上。古賀市の出生率は1.52。全国平均1.42を上回っている。保護者の希望は、病児保育と経済的な負担軽減だ。

**市長** 県は、平成28年度中に小学校卒業まで通院費助成

**問** 出生率向上は、子どもと女性の環境を整備し、支援策を充実で実現する。

**市長** 出生率向上は、子どもと女性の環境を整備し、支援策を充実で実現する。

**市長** 子どもの医療費助成は検討課題。県の負担で予算が浮くが、伸ばすことにはならない。

**問** 女性の賃金格差の解消、経済的な安定、医療の充実、子育ての施設の整備、子育ての負担軽減策など、社会基盤整備の必要性は。

**市長** 女性賃金格差の解消、経済的な安定、医療の充実、子育ての施設の整備、子育ての負担軽減策など、社会基盤整備の必要性は。

**市長** 少子化対策の子ども通院費助成を中学校卒業まで拡大してほしい。

**問** 少子化対策の子ども通院費助成を中学校卒業まで拡大してほしい。

**市長** 少子化対策の子ども通院費助成を中学校卒業まで拡大してほしい。

**市長** 住宅リフォーム助成制度で市民支援を。

**問** 住宅リフォーム助成制度で市民支援を。

**市長** 住宅リフォーム助成制度で市民支援を。

**市長** 今後検討したい。

**問** 若い世代や女性が子どもを産み育て安心して市にしてほしい。

**市長** 若い世代や女性が子どもを産み育て安心して市にしてほしい。

**市長** 若い世代や女性が子どもを産み育て安心して市にしてほしい。

## 一般質問



住宅リフォーム助成制度で街を元気に

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

# 人口変動がもたらす課題と対応は

〔答〕 人口減少・高齢化施策を検討、実施する



田中 英輔  
(山海会)

進、若者の安定雇用など

に取組む。また市外からの子育て世代や若者の転入・定住を促進する取組みが必要である。

〔問〕 日本の人口減少が始まり大都市の微減に対して、地方都市では28%という大幅な減少が推計されている。

古賀市の将来人口想定はどう考えるか。

〔市長〕 古賀市でも、人口は減少傾向に移ると推計されている。町の活力維持に現在策定中の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を具体化し人口の維持、増加をめざす。

〔問〕 減少と合わせて人口構造が変化し、地域経済に大きな影響を与える。どのように対応するか。

〔市長〕 出生率の向上に向けた子育て支援や教育環境の充実、女性の活躍推

考えるか。

〔市長〕 高齢者の増加を見込んでいる。認知症などに伴う要介護認定者の増加が予測され、介護給付費や医療費の増大への対応は重要な課題だ。疾病の早期発見・治療で重症化予防を進め、認知症予防を含む介護予防に取り組みたい。

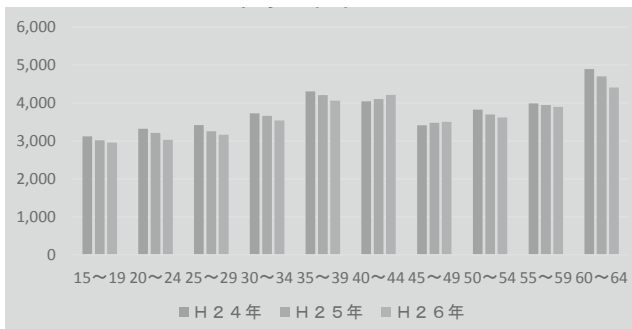
〔問〕 市民の暮らしに様々な影響が考えられる、その対応は。

〔市長〕 高齢化に伴う生産年齢人口の減少は、労働力不足、それに伴う地域経済力の低下、高齢化の進展で社会保障費の増も想定され、支え手の若い世代の負担感の増などが懸念される。

第4次総合振興計画や、今回策定する総合戦略で、さまざまな施策を検討、実施したい。

〔問〕 年少人口、生産年齢人口が減少し、高齢者人口が増加する、その対応はどう

〔市長〕 出生率の向上に向けた子育て支援や教育環境の充実、女性の活躍推



人口減少・高齢化への対応は

# 公募型補助金制度の成果と課題は

〔答〕 課題は団体の自立について検証が必要



阿部 友子  
(連)

を実施。フェイスブックや「わ・わ・わ通信」を通じて募集を行っている。

〔問〕 財政課と担当課の連携、役割分担は。

〔市長〕 担当課が公益性の有無などについて評価し意見を提出、団体と連携しながら事業目的の達成に取り組んでいる。財政課では、庶務及び補助金審査委員会の運営を行っている。

〔問〕 公募型補助金制度は果たして市民活動を推進、活性化することに役立っているか。

〔市長〕 2年間で20事業に対し補助金を交付しており、市民の自発的な活動を推進し、公益の増進に寄与している。

〔問〕 市民活動支援センターとの関わりは。

〔市長〕 つながりひろば交流会に合わせ事業報告会

〔問〕 住民自治を進めるために

〔市長〕 区長制度と校

区コミュニティの関係についてどう考えるか。

〔市長〕 行政区長制度は市の各種伝達、住民との連絡調整などにおいて有効に機能している。校区コミュニティは、校区の課題などに積極的に取り組まれていく。なお、住民自治を推進するため、行政区長制度のあり方も含め、自治会、校区コミュニティ、市の役割を整理する必要があると認識。



事業計画の説明をする応募団体

# 地方創生の鍵、古賀S.AのスマートICを

サービスエリア

インターチェンジ

〔答〕 慎重に鋭意に取り組んでいる



吉住 長敏 (連)

建設産業部長 福津市の畦

町での通過交通の調査しかない。

問 玄望園雇用創出基盤整備事業の作業スケジュールの進捗状況は。

建設産業部長 コンサルタントによる調査、資料づくり段階。福津、宗像市には話をした。

問 宗像の世界遺産の可能性が視野に入った今、近隣自治体の共通の繁栄を念頭に、広域連携による推進体制に切り替えるべきでは。

市長 相手もあるので慎重に検討している。

問 高速バス停も整備計画の中に折り込んで。

都市計画課長 そのような要望は把握していないかった。\*NEXCOとの協

議が必要な内容。

問 鷺白橋と同様、周辺道路の県道福岡〜薦野線の80年の老朽化の薦野線を検討すべき。

建設産業部長 地元区からも毎年狭いと話がある。

その他の質問

高温多湿の益にゴミ収集を実施しては。

森から海への連関、森林資源を生かす事業は進展しているか。

\*西日本高速道路路側

問 施政方針で事業化が明確となった古賀S.AでのスマートIC実現に向け近隣自治体の連携は。

市長 単独ではできない。国、県、近隣自治体とも打診しながら進める。

問 古賀S.Aの位置は元々2郡4カ村井戸1つと言われていたほど宗像市、福津市との接点地。スマートICの実現は、両市にとっても格段の交通アクセスがアップすると思うが。

建設産業部長 事業効果の観点から、近々そういった調査にも入る。

問 町川原〜赤間線の交通量で、鷺白橋辺りの交通量は把握しているか。



須恵スマートインターチェンジ

# 充実した学習環境とするために

〔答〕 2学期制でゆとりは生まれている



伊東 洋子 (山海会)

どうか。

教育長 現在は授業時数にカウントせず地域住民や保護者が参加できる授業参観や、フェスタなどの活動を土曜日に実施している。

問 図書室のエアコン設置と図書室を開放し、夏季休業中の学習環境づくりに取り組んでは。

教育長 図書室は設置済み、小学校は検討中。学校の判断で実施可能だ。

問 戦後70年が経過し、7割の人が原爆投下の日を知らないとの調査報告がある。戦争の悲惨さと平和の大切さを、子どもたちに伝えていく必要があると考え。原爆投下の日

に合わせた登校日を復活し平和教育をしては。

教育長 原爆投下の日にしても、児童が揃わない可能性はある。大切なのは戦争の悲惨さを知り後世につなげていく内容。

問 市民の移動手段を守るにはどうするのか。

市長 基幹交通は、西鉄バスで、不足している所を他の何らかの形で補っていく。

問 「一年を通してメリハリがない」「評価が2回しかなく不安」など2学期制のメリットを感じられない保護者もいるが。

教育長 デメリットは承知しているが、授業時数を確保できるメリットのほうが大きい。

問 低学年の児童が、長時間集中して授業を受けるのは困難。時間にゆとりを持って取り組めるよう土曜授業を再開しては



子どもたちに楽しい学校生活を

一般質問

## バリアフリーの社会を目指すためには

〔答〕 今後も市民サービスの向上に努めていく



平木 尚子  
(公明党)

問 障がい者の方の情報入手の手段について問う。

特に公共広報物の情報の徹底の方法と、新たに始まるマイナンバー制度の移行の課題と対策についてどう考えるか。

〔市長〕 視覚障がい者の方については、ご家族やボランティア、ヘルパーなどのご協力をいただいているが、他の方法についても研究していく。マイナンバーの手続きは、通知封筒に点字や音声コードがつく予定。個人番号カードには、希望すれば点字エンボス加工がされる予定。  
〔保健福祉部長〕 民生委員などを通じて、再度細かい周知をしたい。

問 障がい者、高齢者などの積極的外出につなげるため、行事にあわせての地域巡回バスや、リフトつきバスについてはどう考えるか。

〔総務部長〕 地域巡回バスの需要はあるが、実際利用が少ない。ルートなどの研究の余地がある。リフトつきバス・老朽化したマイクログラスともに、今後、

市で常備するのか、借りるのか、管財部門とも研究をしていく。  
問 安心なまちづくりの一環として、市民サービスの構築に関連し、プレミアム商品券の販売、購入の方法についての感想や課題は。  
〔市長〕 商工会が

行う今年度の販売についての総括と今後の対応の協議に市も出席し、適切に対応する。  
問 市役所、サンコスモの窓口の対応の感想は。  
〔総務部長〕 第一庁舎は、案内コーナー、カウンター、フロアマネージャーを配置している。

〔保健福祉部長〕 改善点は協議しながら対応する。



購入者に配慮を プレミアム商品券販売

## 古賀駅西口の再開発と宮地岳線跡地の活用

〔答〕 地元との対話を重ねていくことが必要



福崎 智之  
(自由クラブ)

問 古賀駅西口の再開発はどうなっているのか。

〔市長〕 商業地域の高容积率、建築用途を生かした土地の高度利用の促進を今後とも検討していく。  
問 再開発に向けて地元住民との協議の場は作るのか。

〔市長〕 商工会や、有志の方々との連携をとりながら、今後の西口商店街の未来像について辛抱強く対話を重ねていくことが必要と考える。  
問 商店街への店舗の誘致、新規開業に向けた支援などの政策は。  
〔市長〕 商店街の活性化は、公募型補助金の活用等で取り組んでいるが、解

決すべきさまざまな課題がある。新規開業支援については、国や県の支援施策を活用しながら関係機関と連携し取り組んでいく。  
問 西鉄宮地岳線跡地の活用は。  
〔市長〕 花鶴川以北については、西鉄宮地岳線跡地の土地利用方針案に基づいて、地元へ報告、協議を行う予定。長年市民に愛され、親しまれてきた交通機関であることから、今後は新たな形で、また市民に愛され、親しまれるような地域へと変わっていくように力を尽くしたい。

〔建設産業部長〕 基本計画を最終オーソライズし、建設産業委員会へ報告後、地元へ説明する予定。

問 古賀を動かしていく原動力は何か。  
〔市長〕 古賀市は共働のまちづくりを理念に掲げている。市民と市役所が協力し、知恵を出し合ってやっていくことが原動力だと考える。  
問 市民の声を聞き、地元と一緒に知恵を出し、汗を流してつくってもらふことを要望する。



古賀駅西口駅前商店街

# 市の防犯灯設置基準の検討を

(答) 今後研究していきたい



古賀 誠視  
(山海会)

**建設課長** 現地を確認して対応する。

**問** 福岡市には道路照明灯整備基準がある。総務委員会では、不特定多数の人が通る所の防犯灯設置の設置基準作成の要望があり、早急に検討すると課長答弁があるが。

**総務部長** その様な議論があったことは承知している。

**問** 防犯灯の設置には、多くの市民の要望がある。古賀市の防犯灯設置基準の作成をすべきだが。

**市長** 防犯灯2基、花鶴川鉄橋に街灯3基設置。  
**問** これでは防犯灯が少ない。地元区と協議を進めてほしい。  
**建設産業部長** 通学路になればその段階で、学校・P・TA・地元区と協議する。

**問** この歩道にも監視カメラの設置を。  
**横田副市長** 設置は、市内の他の場所も含め粕屋署とも協議したい。

**問** フェニックスマンション横に進入道をつくってほしい。

**問** 市が管理したい。

**市長** 考え方をはつきりさせる必要がある。今後研究したい。



古賀市にも安心安全の防犯灯設置基準を

する街路灯・道路・公園の除草などすぐできない時の対応は。

**建設産業部長** 申し出があつた分についてすぐできない場合は、今後適時当事者へ報告する。

**問** 「何でも大きくコーナー」でなくて「何でもやる課」としてほしいが。

# バイオマス発電、任期中にどういまで

(答) 速やかに実現に向けて取り組みたい



村松 謙二  
(希来里)

シンパタンがある。市長はどのようなイメージを持つているか。

**市長** 宗像工場が閉鎖の可能性があるので、古賀工場を8年後以降も操業を継続し、宗像分を古賀工場で引き受ける可能性があると想定している。

**問** 総合戦略にバイオマス発電を検討されたいが、現時は技術的に難しいとのことだが。

**市長** 環境組合が計画している構想には、平成35年以降の2つの工場存続に

**市長** 現在、玄界環境組合は地元筵内地区との話し合いを進めており、8年後以降も継続稼働をお願いしている。もし同意が得られない場合は、操業できない可能性がある。準備期間がある平成28年度中に将来構想をはつきり示す必要がある。

**市長** 技術的には、ほぼ確立されたと判断してい



操業12年経過した古賀清掃工場

**公共交通問題について** 昨年立ち上げた公共交通活性化委員会の提言を受けて今後の取り組みと国の交通政策を活用した事例を提案した。

## 一般質問

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

# 2025年問題 現在の保健師体制で大丈夫か

(答) 保健福祉部と協議相談して対処したい



奴間 健司 (希来里)

長期的視野で検討。

**問** 古賀市の保健師の人数は人口10万人当たり

15・6人と県内60市町村で下から8番目だ。

**市長** 時と場合による。

**問** 健康づくりに14人の保健師という目標で継続的・計画的確保を。

**市長** 人数ありきではなく事業内容を考えたい。

**問** それをいつ示すか。

**市長** 鋭意検討中だ。

**問** 12月議会で再度聞く。骨格は出せるか。

**市長** 現時点で答えられないが、次の節目は来年度の予算編成だと思う。

**問** アジアとの友好都市や若者の交流促進を。

**市長** 大事だと考える。

**問** 古賀西小学校卒業の中村哲医師の平和講演会を。

**市長** 今後検討したい。

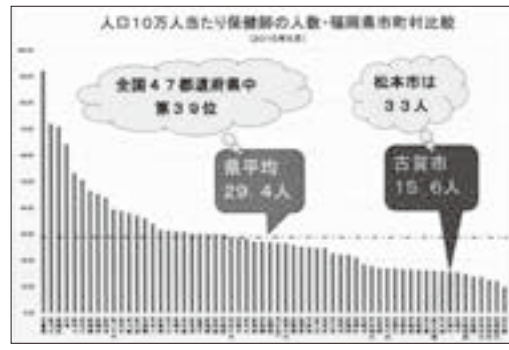
**保健師の体制確保 追加募集も含め急ぐべき**

**問** 保健師体制の評価。

**市長** 昨年度からヘルス・ステーションを取り組み、4人増員もした。今後の施策に必要な体制は、保健師の育成も含め

**市長** 保健福祉部と協議相談して対処したい。

**問** 福岡市のように保健師の追加募



保健師の人数が絶対的に足りない古賀市

## 一般質問

### 議会Q&A

**Q** 決算審査特別委員会ってなあに？

**A** 市の前年度決算について審査するために設置される特別委員会です。

決算委員会では前年度の収入【税金など】と支出【各種の事業】がどのように使われて、どのように成果を上げたかを審査することに、予算議決権と対応する議会の大事な権限です。

具体的には、「決算書」「成果報告書」「監査委員意見書」などを集め、さらに前年度、前々年度の数字と比較して傾向を把握します。議員が必要と思われる資料を請求し、質疑します。



**Q** 「政務活動費」とは



**A** 議員が政務活動（調査・研究）を行うために必要な経費の一部として支払われるお金です。古賀市議会の条例では、議員一人に年額12万円が交付されます。

政務活動費は使途が定められており、年度末に領収書等の証拠書類を添えて、議長に報告することが義務づけられています。提出された収支報告書を提出期限の日から起算して5年間保存します。

なお、各議員の収支報告書・領収書は議会ホームページにて公開しています。

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

# 総務委員会

8月4日

委員長 岩井 秀一  
副委員長 田中 英輔  
森本 義征  
井之上 豊  
村松 謙二  
清原 哲史

## 古賀市版 人口ビジョン

### まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

経営企画課より、地方創生総合戦略の骨子案の説明があり、質疑を行いました。

答 試案などがある程度整ってからの密な意見交換を行いたい。

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案について古賀市独自の戦略は何か。

答 今回の戦略は人口増加、ターゲットは20代と30代で、子育てするなら古賀と

思ってもらえるまちづくりを目指す。

問 行政だけでなく、民間の力を生かした施策を打ち出すべきでは。

#### 【人口ビジョンにおける「めざすべき将来展望」】

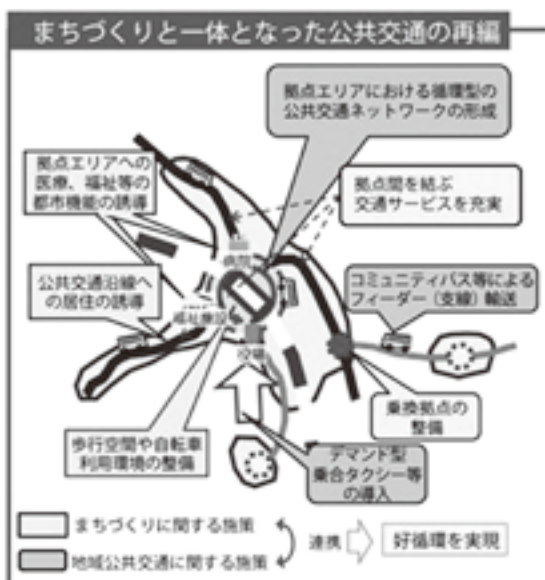
2040 (平成52) 年において **6万人規模** の総人口を維持する

#### ①合計特殊出生率

・2010(平成22)年の合計特殊出生率「1.52」の段階的な向上を図り、2040(平成52)年において国の長期ビジョンで示されている「人口置換水準：2.07」の実現をめざす。

2010年	2020年	2030年	2040年
1.52	1.60	1.80	<b>2.07</b>

古賀市の人口将来展望 (素案)



国土交通省：地域公共交通活性化再生法 資料より抜粋

### まちづくりの一環としての公共交通を

経営企画課から公共交通問題について、西鉄バスの実績では、平成26年度1年間の利用者は250405人で、平成25年度に比べ16211人の減少になりました。

問 長年の課題である公共交通対策として、昨年立ち上げた公共交通活性化委員会の最終的な提言と今後の展開は。

答 当分の間、西鉄バスへ補助金による運行を継続しながら、補完的に

出かけタクシー等の手段を含め、引き続き今後も検討することになる。

問 今までのような対症療法ではなく、国の交通政策を活用し、「まちづくりの一環として公共交通のあり方を新たに議論すべきでは。

答 今回の活性化委員会の提言内容も含め、改善すべき点は改善し、基本的な大きな方針を打ち出す時期にあると考える。

問 今回の活性化委員会の提言内容も含め、改善すべき点は改善し、基本的な大きな方針を打ち出す時期にあると考える。

問 現在の防犯灯の設置状況は、今年度の補助金の状況は。

答 今年度は、6月末実績で284件の申請があり、すべてLEDである。昨年度は、222基の申請のうち206件がLEDであった。



LED使用の街路灯

### 市民の健康づくりを担う

#### 保健師の産休時の対応

人事課行政管理係から平成27年7月1日付け人事異動について、また平成27年度職員採用試験について説明がありました。

問 現在9人の正規保健師が配置されているが、今年度は、そのうち4人が産休に入る。保健師の産休時には臨時職員で対応することだが、負担が大きいのでは。

答 現状では臨時職員を、

問 4人の産休をチャンスと捉え、計画的に保健師体制を充実する契機にすべきだ。

答 来年度に向けて、任期付き等での対応を調査研究している。

問 この体制ではヘルスステーションの新たな立ち上げや市民の健康づくりに支障が出ないか。

答 今年度は、6月末実績で284件の申請があり、すべてLEDである。昨年度は、222基の申請のうち206件がLEDであった。

問 今設置している防犯灯をすべてLEDに交換するとの程度の前算が必要か。

答 設置数約3500基あり、未LED灯は2995基のため、概算で約5300万円の事業費が必要。

問 今設置している防犯灯をすべてLEDに交換するとの程度の前算が必要か。

答 設置数約3500基あり、未LED灯は2995基のため、概算で約5300万円の事業費が必要。

問 今設置している防犯灯をすべてLEDに交換するとの程度の前算が必要か。

答 設置数約3500基あり、未LED灯は2995基のため、概算で約5300万円の事業費が必要。

## 文教厚生委員会 7月28日・30日

委員長 吉住 長敏  
副委員長 阿部 友子  
委員 伊東 洋子 福崎 智之  
平木 尚子 内場 恭子

### 子どもの相談や家庭支援が効果

不登校の人数は大きく減少していないが、スクールソーシャルワーカーが家庭に深く入り込み支援している。心の教室相談員も平成19年度から各学校に1人が配置され子どもにとって貴重な相談相手になっていくこと。

不審者問題では、古賀市では、地域見守り隊が充実しており、他の市町と比べ不審者が出にくい状況にあるとのこと。

### あつてよかった病後児保育

鹿部保育所は、病後児保育事業を古賀市と新宮町合同で行っており、平成26年度の延べ利用者40人、うち古賀市から28人、新宮町からは12人という状況です。

問 病後児保育を利用された主な疾病は。

答 感染症腸炎などが多い。



安心の病後児保育（ししぶ保育所内）

### 新たな生涯学習センターの利・活用を

現在の中央公民館（ホール棟、研修棟）の使用状況、大ホール、大会議室の使用内訳、中央公民館使用料における減免内容、研修棟使用許可後の使用状況の詳細な報告がありました。

委員からは使用料金の体系、キャンセルのルールや減免、館内での飲食、インターネット予約、運営方法に関して種々の意見が出されました。



建設が進む生涯学習センター

### 災害時に頼りになるのは「近所（近助）

災害時要援護対象者数は、平成27年6月で4427人、要援護者台帳への登録同意者は3372人、同意率76.2%。しかし、家族が働きに出る必要の方への対応が求められます。

などで昼間ひとりになる要援護者や単身者数の掌握、未同意者への働きかけ、生活実態から支援が必要な方への対応が求められます。

### 高齢者への安らぎは「はり・灸補助券

はり・灸補助券は、1000円施術が広がったことから、1000円以上2000円未満の施術には500円補助券を発行し、2000円以上は今までどおり1000円補助券の利用となりました。

問 医療的な効果の検証が必要ではないか。

答 介護予防や医療費削減効果の検証は困難だが、利用者には喜んでもらっている。

はり・灸施術料	補助の内容
1,000円未満	利用できません
1,000円以上～2,000円未満	500円
2,000円以上	1,000円

補助券つづりは1,000円分で使うと20回分、500円分で使うと40回分として使い、組み合わせても使えます。

### 給食に地場産米・野菜等の食材使用を

献立委員会など給食提供事業、アレルギー相談など食育推進事業、野菜、米、米粉を一括した地元農産物使用状況の報告を受けました。

委員からは、弁当の日の日数、アレルギーへの対応、食器破損状況の原困、給食に使用する塩分量、地場産の食材使用、調理員・野菜生産者と児童との交流への意見が出されました。

問 地元農産物の納入生産者を発掘し、古賀市の子どもたちに、地元産物の味を知らせてほしい。

答 親子の料理教室などで紹介し、頑張っている。



## 市民建産委員会

7月21日・22日

委員長 高原 伸二  
副委員長 渡 孝一  
委員 奴間 健司 古賀 誠視 松島 岩太 姉川 さつき

### 農産物移動販売に新車導入

農産物移動販売促進事業補助の現在の計画として、移動販売用車両1トンの購入と改造を予定して、周知の広報媒体の作成を検討。予算額は250万円という報告がありました。

問 新しい車両が動き出す時期は。  
答 コスモス広場と車両を改造する業者との契約は済んでいる。改造業者が繁忙の中10月中の納入を目指して作業中である。新しい車での販売は早くて11月になる。



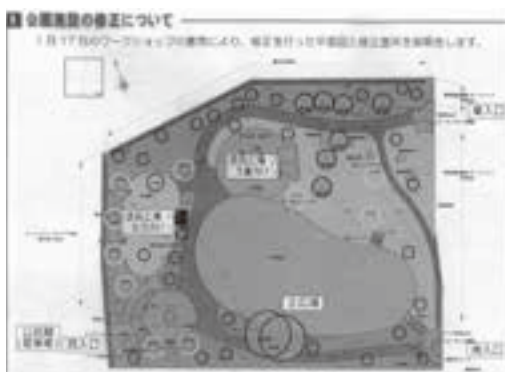
農産物移動販売 (フェニックスマンション)

### 花見東地区公園の完成はいつ?

花見東地区公園整備事業は、現在用地交渉を継続していて、用地売買契約については、12月の議会定例会に上程を予定し、議決後、工事発注の予定であると報告がありました。

問 地権者の都合で交渉が遅れていると聞いているが見通しはどうか。  
答 相続関係の手続が終了していないところがある。工事発注

問 地権者の都合で交渉が遅れていると聞いているが見通しはどうか。  
答 相続関係の手続が終了していないところがある。工事発注



花見小学校横に予定されている公園計画図

は年明け頃、工事完了は来年度中を予定。  
問 1年位工事完了が遅れるということか。  
答 その通り。

### どうなる、大型商業施設跡地

問 舞の里エリアにある、大型商業施設の撤退に伴う今後の話について、市はどういう働きかけを行い、どういう形で把握をしているのか。  
答 今後の跡地利用についてや、撤退の相談は、

問 舞の里エリアにある、大型商業施設の撤退に伴う今後の話について、市はどういう働きかけを行い、どういう形で把握をしているのか。  
答 今後の跡地利用についてや、撤退の相談は、

問 舞の里エリアにある、大型商業施設の撤退に伴う今後の話について、市はどういう働きかけを行い、どういう形で把握をしているのか。  
答 今後の跡地利用についてや、撤退の相談は、

### ごみの減量、目標値を達成できるか

1日1人あたりのごみ処理量について、平成28年度に678グラムを目標値にしているの、今年度と来年度の2年間であと82グラムの削減が必要と説明がありました。  
問 82グラム未達成をどのようにすれば解決して

いけるのか。方策を。  
答 家庭の可燃ごみを減らすには、生ごみの水分を減らすことと紙ごみを分別することです。広報の特集連載の継続や、各種イベントでの情報発信など、啓発に力を入れていきたい。

### 空き家・空き地の現状は

空き家空き地対策事業について、現在全戸調査を実施している。花見、千鳥、舞の里、古賀西、古賀東の各小学校区については終了。8月下旬までに市内全域の全戸調査を終え、10月下旬までに再調査を実施、年内をめどに所有者等の特定を行う予定との報告がありました。  
問 全戸調査と再調査



増え続ける空き家

## 平成27年 第2回臨時会報告

(8月11日)

平成27年8月11日、平成27年古賀市議会第2回臨時会が開催されました。

2件の工事請負契約の締結について審議しました。

1. 農業集落排水事業 薦野・米多比地区処理施設工事(機械・電気工事)
2. 平成27年度都市再生整備計画事業(サンフレアこが増床他施設整備工事)

応札において2社が全く同額であることに違和感。見解をとという質疑に、それぞれの業者が適正に積算をした結果と考える。くじ引きで決まったとの回答。採決の結果、2議案共に賛成全員で可決しました。

## 政策推進会議

平成27年8月11日、9月24日

古賀市議会では、市民の声を市政に反映させるために、市議会提案の政策を進める政策推進会議を行っています。

これまでの会議で下記の内容が決まりました。

- ・ **政策課題を募集** (10月13日まで)  
応募は個人、会派からで政策の題名・目的・効果・政策の概要を記して提出します。
- ・ **政策課題の選定** (10月19日)  
応募提出者による課題発表会を行い、役員会の協議により課題を選定します。

なお、政策推進会議の内容は11月14日(土)にリーバスプラザ大会議室で開催される「議会報告会」で報告致します。

古賀市のことを市民のみなさんと一緒に語り合いましょう。

### \* 政策推進会議とは (古賀市議会基本条例より)

議会は、市政に関して重要なものについては、議員間で共通認識及び合意形成を図り、政策立案を推進するため、政策推進会議を開催することができる。議会は政策推進会議により提言として取りまとめたものについては、市長等に報告することができる。

### 人事

#### 古賀市監査委員の選任

谷口 一馬氏(新)

#### 糟屋郡公平委員会の選任

山田 裕嗣氏(新)  
櫻木 幸弘氏(新)  
藤田 清満氏(新)

#### 人権擁護委員の推薦

前野 早月氏(新)  
土江 賢隆氏(再)



### 財政課職員を 講師に研修

平成27年8月11日

古賀市議会では、総務部財政課の職員による議員研修を「地方財政の仕組みと古賀市の財政状況」をテーマとして研修しました。市の財政状況を、様々な指標を他市町との詳細に比較、確認しながら、今後の財政のあり方を考えました。

今後も、様々な分野の研修を深めていきます。

### ようこそ古賀市へ

古賀市議会への  
視察受け入れ

平成27年

8月19日

埼玉県川越市

議会運営委員会

議会運営、議会改革についての研修を見えました。



### 森林に目を 向けよう!

林活議連(森林・林業・林産業促進議員連盟)が新しいメンバーでスタート。

10月20日には森林・林業・林産業活性化九州大会(鹿児島市で開催)へ7人が参加し、「林業の成長産業化」について研修しました。

会長 井之上 豊  
副会長 福崎 智之

請願

27年 請願1  
 「少人数学級の推進」「義務教育国庫負担制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願

この請願は、小学校2年生以上の35人以下学級の早期実現と、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、教育予算の充実と義務教育費国庫負担制度の拡充を求める意見書を、国の関係機関に提出を求めるものです。文教厚生委員会に付託し審議しました。教師がゆとりを持つて子どもに接することで、学習状況に合わせた対応が可能になるという賛成討論があり、採決の結果、賛成全員で採択しました。

請願者 箕原 隆代  
 紹介議員 田中 英輔  
 奴間 健司

意見書

「少人数学級の推進」「義務教育費国庫負担金制度の拡充」を求める意見書

「27年 請願1」を受けて、35人以下学級の早期実現と、義務教育費国庫負担制度の拡充を求めるものです。賛成全員で可決し、国会及び政府に提出しました。

提出者 文教厚生委員会  
 委員長 吉住 長敏

陳情

治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を支持し、政府に対し意見書の提出を求める陳情書(7月21日)

陳情者 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟福岡県本部  
 会長 石村 善治

14回目の地球社会建設決議陳情書(8月10日)

陳情者 荒木 實

外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情(8月17日)

陳情者 小坪 慎也

平成27年古賀市議会

第4回定例会会期日程(案)

会期 12月3日～12月18日 16日間

日	曜	開議時刻	会議名
12/3	木	9時30分	本会議
7	月	〃	本会議
8	火	〃	常任委員会
9	水	〃	常任委員会
10	木	〃	常任委員会
11	金	〃	補正予算審査特別委員会
14	月	〃	一般質問
15	火	〃	一般質問
16	水	〃	一般質問 議会報編集常任委員会
18	金	〃	本会議

注)会期日程は、11月30日(月)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。会議録は、議会事務局で販売閲覧、市立図書館で閲覧できます。

◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)

◎請願書の締切りは11月26日(木)午後5時です。

インターネット議会中継・録画配信中

インターネット議会中継をご覧頂くには、パソコンで <http://www.city.koga.fukuoka.jp/> の

トップ画面⇒古賀市議会⇒インターネット議会中継⇒録画中継⇒議員名か会議名で検索できます。

※但し、スマートフォンやiPadでは、まだ見ることができません。議会としても改善してまいります。



訂正とお詫び

古賀市議会だより第72号7ページ正・副議長及び古賀市監査委員選挙結果の表の中で、「監査役」とあるのは「監査委員」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

# 市民活動紹介 ボランティア 訪問 19

まちの草の根活動  
紹介しま〜す！



おしゃべりしながらのおもちゃ作りが元気の源

## 布おもちゃ「とまと」

〜布のあたたかさと子どもの心を育む〜

布おもちゃ「とまと」(平成6年に発足・会長岸本洋子さん)は、布の持つ「あたたかさ」「安全性」「やさしさ」「色彩のあざやかさ」の特徴を活かしておもちゃづくりや布絵本づくりなどをされています。

新しい方の参加がないことが悩みだそうです。介護を18年間しながら活動をしてこられた会員のお一人は、この活動があったから介護が続けられたと語ってありました。

作った作品を子育てサロン、幼稚園、北中学校、託児などに貸し出しもされています。高齢者やハンデのある方のリハビリにも取り入れられているそうです。

おしゃべりしながらチクチクと針を動かす、これがお元気の源だと感じました。  
連絡先：古賀市社会福祉協議会  
0921944-2941

わくわくフェスタや福祉祭り、アンビシヤス広場などにも参加、幅広く活動を展開されています。

会員は9人。20年以上活動を続けてありますが、平均年齢が70代前半と高齢化して、



いろいろな魚がいます。  
魚つりは子どもに人気



ネクタイが蛇に変身

第3回定例会の傍聴者は58人でした。ありがとうございます。第4回定例会は12月3日(木曜日)開催予定です。また、インターネットによる中継、録画配信も行っております。

### 平成26年度決算

**特集**

最小限の経費で、 最大限の効果が得られたか	2~5
第3回定例会の主な審議と結果	6~7
ここが聞きたい！一般質問	9~14
常任委員会報告	15~17
市民活動紹介	20

## 編集後記

眩しい太陽の季節から、虫たちの声が優しくささやく秋の季節に変わりました。9月の定例会では、平成26年度の決算審査が行われ、ベテラン議員の鋭く、深い質疑と、執行部の詳細な答弁を受け、古賀市の財政状況を改めて知ることができた新人議員の表情もいっそう引き締まってきました。

11月には古賀市議会をもっと知っていただくよう、もっと市民の声を古賀市のまちづくりに生かしていくという想いを込めた「議会報告会」が企画されています。古賀市への想い、考えを聞かせていただき、その声を市政に生かして行きます。

多くの方のご参加をお待ちしております。(福岡)

### 議会報編集常任委員会

- 委員長 内場 恭子
- 副委員長 福岡 智之
- 委員 阿部 友子
- 委員 平木 尚子
- 委員 古賀 誠規
- 委員 村松 謙二

### 表紙の言葉

議会報告会を11月14日(土)19時より開きます。多数の参加をお待ちしています。